

星に語りて～StarrySky～

2011年3月11日 東日本大震災、障害のある人と支援者の物語。

星に語りて Starry Sky

2020年12月18日(金)

19:00～21:00

会場:茅ヶ崎市民文化会館 大会議室

2020年12月19日(土)

10:00～12:00

13:30～15:30

会場:シンコースポーツ寒川アリーナ

(寒川総合体育館) 1階 多目的室

定員:30名 入場無料 事前申込制(先着順)

きょうされんは、1977年に障害のある人の願いをもとに16カ所の共同作業所によって結成されました。現在、約1,870カ所の障害者事業所が加盟しともに活動しています。きょうされんでは、これまでに4回の映画製作・上映活動を続けてきましたが、40周年記念事業として製作された、今から100年前に精神病患者を救おうと奔走した呉秀三の功績を描くドキュメンタリー映画「夜明け前」に次ぐ5

回目の今作品は、大災害時における障害のある人の状況と支援者の活動を描く劇映画です。

2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城県の牡鹿半島東沖で発生したマグニチュード9.0のわが国観測史上最大の地震。東日本大震災による傷跡は、未だに人々の心の中に深く刻まれています。しかし、1万8千人を超える死者・行方不明者の中で、障害のある人の死亡率が全

住民の2倍だという事実を知る人は少ないのではないのでしょうか。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を山本おさむ氏の脚本と新進気鋭の松本勲監督によって描き出す群像劇です。実力俳優陣に加え、障害当事者を出演者として起用し、人間味あふれるドラマが繰り広げられます。

脚本 山本おさむ (長崎県出身の漫画家)

代表作:「そばもん ニッポン農業行脚」「どんぐりの家」(日本漫画家協会賞優秀賞)「赤狩り」

監督 松本 勲

(石井隆、松尾昭典、山崎貴、高橋洋明らの助監督を経て、近年では大林宣彦の監督補佐を務める傍ら、中・短編映画を撮り続け、各映画祭等での受賞数多数)